

平成22年度夏季研修講座(鈴鹿)

わかりやすい授業の工夫

～通常学級に在籍する気になる子への支援のあり方～

名城大学 曾山和彦

2010.8.20

気になる児童が溶け込む実践:A小学校 「どの子もできる授業づくり 三つの原則」

- 授業規律の定着
- リズムとテンポ
- 1指示1動作

ユニバーサル;普遍的

個への支援が全体の支援につながる

気になる子も含む30名弱の子どもたちが45分集中して学ぶ姿に、「ああ、これが知識生活黄金時代ということか」と感動。担任の先生が練りに練った「作戦」に、子どもたちが心地よく乗っている、そんな印象を受けた(小1授業参観時の、私の観察記録)

2

気になる生徒が溶け込む実践:B高校 「ユニバーサルデザインによる授業づくり」

- 教室環境づくり;掲示物は四カ所留め、等
- 授業づくり;教科書、問題集のどこをやっているのかを板書提示、等

ユニバーサル;普遍的
個への支援が全体の支援につながる

「落ち着きのない生徒が静かにノート記入するようになった」、「授業への取り組み姿勢に意欲が感じられるようになった」等(教師による行動観察記述)

3

気になる児童が溶け込む実践:C小学校 「人づきあいのコツを学ぶSSTタイム」

- 全学年が年間を通じて、毎週金曜の朝の短学活15分を使い、SSTに取り組む。

ソーシャルスキル・トレーニング(対人関係のコツを教える)してみせて 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は育たず

SSTタイム継続により、授業中の子ども同士のかかわり方もとてもよくなった。自分の考えに固執せず、柔軟な考えをもつ子どもが増えてきた(教師による行動観察記述)

拙著「時々“オニの心”」(明治図書)に詳細を掲載

4

気になる生徒が溶け込む実践:D中学校 「全ての学級が取り組むアサーションワーク」

- テーマは「上手な断り方」

アサーション
自他尊重のコミュニケーションスタイル
さわやかな自己主張

気になる生徒も含め、全学級の生徒がグループワークやロールプレイに取り組む姿に驚いた。最後に、校長先生から頼もしい発言もあり、「国語・数学の力は秋田にも負けません!」(参観時の、私の観察記録)

5

大学講義を通して感じること ～授業は「イカダ下り」に似ている～

- 居眠り
- 私語
- 携帯いじり

講義が単調であったり、「へえ、なるほど～」という知的好奇心を喚起できなかったり

タイのジャングルの川を4時間、竹のイカダで下ったことがある。4時間、飽きることなくイカダ下りを楽しめたのはなぜだろうか。緩やかな流れ、急流、移り変わる景色など、ワクワク、ドキドキすることがあったからだろう。90分の講義も、ワクワク、ドキドキを用意すれば、居眠り、私語、携帯いじりは消える。

6

わかる授業のための 学級・集団づくりの基礎・基本



□ルールづくり

レポートとの違いは？

□ふれあい(リレーション)づくり

プラグマティズムで行こう！

腕の見せどころ

- ・使えるものは何でも使え
- ・役に立つ知識こそ真の知識

私にとって使い勝手がよいSGE & SST

7

学級・集団づくりを支える理論

～マズローの欲求階層説～

- 第一欲求（生理的）が満たされると、第二欲求（安全・安定）が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



「わかる授業」は大学も同じ 1

腕の見せどころ；私の場合

1. アイスブレイキング&グルーピング
 - ・雰囲気づくりは基本。「安心・安全欲求」に応える
2. ペアワーク
 - ・前時の復習でたっぷり頭を使ってもらう
3. ゴール提示
 - ・本時の行き先(ゴール)を示す

9

「わかる授業」は大学も同じ 2

4. 知識伝達
 - ・具体例と絡めて知識伝達。その後重要事項のみ書き取り
5. 机間巡視
 - ・寝ている学生等への声かけ、ルール徹底
6. グループワーク
 - ・体験を通じた知識の落とし込み

10

「わかる授業」は大学も同じ 3

7. ふり返り記入
 - ・本時をふり返り、気づきを記入

*全体を通して
・生徒指導を機能させるためのキーワード；「自己決定」、「自己存在感」、「共感的関係」は常に意識して働きかけ(名前を呼ぶ、マイクを回して発表させる、「ありがとう」の言葉かけ等)

11

集中した学びにつながるもの(一例)

1. 面白い
2. 「？」が生まれる
3. ルーティンワーク
4. ほどよい時間
5. かかわり合い・競い合い

12

どの子どもも参加した45分授業

先日、三河地区の某小学校5年生の学活授業を参観。「特別な支援」が必要な子が数名いたのに、授業の中では「特別」が消え、全く目立たず、しかもどの子どもも授業に集中

<その学級に何があったのか？>

- ・軽快なテンポによる担任の見事な導入
- ・男女の壁がなく、自然にかかわれる安心の関係
- ・安心をベースにしたグループワーク

13

発達障害のある子どもの授業

欠かせない状況把握(アセスメント)

* 障害の基本理解は参考資料参照のこと

- ・45分(50分)授業参加の力が、現時点であるのかどうか
- ・アセスメントによるゴールセッティングを間違えると「褒めることができない」
- ・アセスメントポイントは複数あり(一人でOK?、どんな教科でもOK?、いつの時間帯でもOK?等)

14

おわりに

- ・我流では学校経営は倒産する(前田)
- ・これまでの学級づくりに安住することなく、新たな視座に立って実践の更新を(前田)

教育のプロとして、腕の見せどころ
「情熱」だけではどうにもならない
「技」を身につけよう!

「一つだけでは多すぎる」
(外山著、「思考の整理学」より)

15

主な参考・引用文献

- 教師の実践する力を鍛える、前田勝洋、黎明書房
- 思考の整理学、外山滋比古、ちくま文庫
- 「気になる子への対応術」、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書

「学校におけるカウンセリングを考える会」資料
<http://www.pat.hi-ho.ne.jp/soyama>

16

参考資料

LD(学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD; 言語理解、表出、読み、書きの困難
非言語性LD; 空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント~スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

17

参考資料

ADHD(注意欠陥/多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られる
セルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発
(ドーパミンなどの神経伝達物質の量、働き!?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

教室で、特に
気になる子ども

活性化作用のある刺激剤
メチルフェニデート

リタリン コンサータ(日本初の治療薬)

参考資料

PDD (広汎性発達障害)

- ・三つ組(社会性, コミュニケーション, 想像力)の障害を有する
- ・「自閉症スペクトラム」と同義
- ・以下の5つのPDDがある

- ・自閉性障害 (*この中で知的な遅れを伴わないものを, 「高機能自閉症」という)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD (*非定型自閉症と同義)

上記の中で, 高機能自閉症, アスペルガー障害, 知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という

19

参考資料

LDへの基本対応

例, 読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり, 正しく読めるようになった

教科支援の基本; 該当学年より2~3学年下げた内容を!

20

参考資料

ADHDへの基本対応

脳の実行機能に弱さがあるため, 自らの動機付けが困難故に, 報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標を一つ決め, 達成したらシールやスタンプの報酬等

「パソコン」というリソースで別人のように変わったA児

主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること, できそうなことを賞讃する
- ・賞讃, 叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず復唱させる
- ・クールダウンの場を設ける

等

21

参考資料

A児への支援例 ~ やくそくカード

パソコンが大好きで, 得意なA児

シールが5枚たまったら, パソコン15分チケットをもらえ

やくそく名前

- ・朝の歌をみんなと一緒に歌います (シール1枚)
- ・集会に本をもたずに参加します (シール2枚)
- ・教室でみんなと一緒に勉強します (シール2枚)
- ・放送室で先生と一緒に勉強します (シール1枚)

等

参考資料

がんばり表

12月5日~12月9日

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	算数	国語	算数
2	理科	国語	算数	算数	算数
3	算数	体育	道徳	道徳	道徳
4	国語	理科	理科	理科	理科
5	社会	国語	体育	社会	社会
6	国語	国語	国語	国語	国語

A児のがんばり表

シールをもらおう!

21

参考資料

A児の自作カード&パスポート

保健室に行きます

職員室に行きます

パスポート

みるくしょう
4年年末1110才
男たししょう日月日

24

支援事例

本で教えるソーシャルスキル

周囲の児童の行動変容があり、
気になる児童(小4)の暴言も改善

ロン・クラーク著
「みんなのためのルールブック」

人付き合いのコツがイラストを
通して楽しく学べる。



参考資料

PDDへの基本対応



26

支援事例

NHKプロフェッショナルより

～自閉症支援・服巻智子～

プロフェッショナルの道具；白いメモ帳

服巻が必ず鞆に忍ばせているのが、真っ白なメモ帳

相談内容を聞き取ってイラストにし事実関係を整理する。そしてどうしたら良かったのかを書き添えて、メモを渡す。自閉症の人たちは視覚的な理解・記憶が得意なため、書いて伝えることが大事だという(2007.10.30放送)